

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586005301	科目番号 / Course code	05860053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12711_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動 (経済活動と社会) / Economic Activity and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松木 佑介 / Yusuke Matsuki, 島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松木 佑介 / Yusuke Matsuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymatsuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所207		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義初回に通知する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教養レベルのミクロ・マクロ経済学のうち、ミクロ経済学を中心に講義する。本講義は経済学入門として位置づけられる。		
授業到達目標/Course goals	需要曲線と供給曲線を用いた均衡分析やGDPなど経済学の基本的概念や分析手法を理解して、市場や政策の評価や、政府や制度のあり方について議論ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験による。さらに発言やレポートの内容などを追加的に考慮する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト: スティグリッツ (2012) 『スティグリッツ 入門経済学 第4版』 (藪下史郎ほか訳) 東洋経済新報社		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス; 現代の経済学
第2回	経済学的な考え方: 基本的競争市場
第3回	経済学的な考え方: 費用概念
第4回	需要、供給、価格: 需要と供給
第5回	需要、供給、価格: 均衡
第6回	需要・供給分析の応用: 弾力性
第7回	需要・供給分析の応用: 弾力性、課税
第8回	需要・供給分析の応用: 政策介入
第9回	市場と効率性: 余剰
第10回	市場と効率性: 市場の効率性
第11回	不完全市場入門: 市場の失敗
第12回	公共部門
第13回	マクロ経済学: ミクロ経済学的アプローチ1
第14回	マクロ経済学: ミクロ経済学的アプローチ2
第15回	マクロ経済学: ミクロ経済学的アプローチ3

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586005701	科目番号 / Course code	05860057
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12721_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動 (企業の仕組みと行動) / Organization and Behavior of Enterprise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru, 島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	事例をつづじて全体像をまず感得させ、次に学術的にも現実的にも定着している基礎的な概念と理論を教授し、そのうえで簡単な演習問題を通じて応用の指針を体得させる。		
授業到達目標/Course goals	事例から問題の本質を抽出することができる。企業の仕組みと行動に関する、入門レベルの概念または理論を自分の言葉で説明できる。問題に対する分析とそれに基づいた対応策を、論理的に説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 一部でボードゲームを実施する予定である。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題レポート30%, 筆記試験40%, 講義への関与30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストに即して進行するので、事前にわからない専門用語を整理しておくこと。とくに関心があるトピックについては、繰り返し読みまたはさらに文献を渉猟するなどして、自らの問題意識に応じて課題レポートとして、具体例を交えて表現すること。		
キーワード/Keywords	二要因理論, 組織均衡, 企業の誕生, 意思決定		
教科書・教材・参考書/Materials	林徹 (2015) 『協働の経営学』中央経済社。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	講義の一部で、グループワークを行う予定である。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	テキストを必ず入手しておいてください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程(所得税法上の勤労学生:1983-1988)に在 籍中,老舗割箸小売商,有限会社遠州屋商店(横浜市中区長者町)において,横浜・川崎・藤沢・鎌倉 などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引(御用聞き・配達・ 納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり), 視覚障がいをおもちの内職さんとの取引(割箸袋への割箸の挿入),その他の経験/商慣行を含む小 売商における取引実務の全般,トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス(単位認定要件,計画,オフィスアワー)
第2回から第10回まで	テキストに沿った講義と問題演習
第11回から第14回まで	デモンストレーションの後,必携PCによるテーブルでの個人対戦(4人?6人)
第15回	質疑応答と総まとめ
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586006101	科目番号 / Course code	05860061
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12731_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動 (経済政策と公共部門) / Economic Policy and Public Sector		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	島田 章 / Shimada Akira		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	対象学部: 多文化社会、教育、薬、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shimada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階501		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了直後の20分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	市場経済においても、政府は重要な役割をもっている。市場経済の機能と限界を概観し、市場経済において政府や中央銀行がどのような役割を果たせるかをマクロ経済学的な視点から学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	価格メカニズム、市場経済の機能と限界、市場経済における政府や中央銀行の役割を主体的に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間のまとめ (試験またはレポートを含む) (50%)、期末のまとめ (試験またはレポートを含む) (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	市場の価格メカニズム、政府の役割、中央銀行の役割		
教科書・教材・参考書/Materials	中谷武・中谷保 [編著] 『1からの経済学』中央経済社、2010年		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	メールを送るのであれば、上記の担当教員メールアドレス宛に送ってください。またメールの件名に、平成31年度全学モジュールT『経済政策と公共部門』受講者の誰々 (氏名)、何学部 (学部名)、何番 (学生番号) で件名は何々 (例えば質問)、などと書いてください。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、経済学とわたしたち
第2回	需要と供給、価格メカニズム(1)
第3回	需要と供給、価格メカニズム(2)
第4回	市場の限界(1)
第5回	市場の限界(2)
第6回	中間のまとめ (試験またはレポートを含む)
第7回	マクロ経済分析の基礎(1)
第8回	マクロ経済分析の基礎(2)
第9回	マクロ経済分析の基礎(3)
第10回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(1)
第11回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(2)
第12回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(3)
第13回	政府の財政、政府の役割、財政政策(1)
第14回	政府の財政、政府の役割、財政政策(2)
第15回	政府の財政、政府の役割、財政政策(3)
第16回	期末のまとめ (試験またはレポートを含む)